



▲サルに食い荒らされたキュウリやトマトなどの農作物。家庭菜園への被害も深刻です



サル対策を強化

農作物を守るため 地域住民をサポート

市内では栃尾地域および山古志地域の一部に生息するニホンザル。農作物を食い荒らし、地域住民に大きな損失を与えています。昨年度のサルによる農作物の被害額は約130万円に上りました。そこで今年度、市はサル対策を拡充。被害を防ぐため、住民の取り組みをサポートします。

サルの居場所を特定 早めの対策が可能に

サルが生息する地域の住民を対象に、出没場所や行動経路を確認できるウェブサイトを

電気柵の管理を 専門の点検員が助言

電気柵の効果的な使用を促進するため、専門の点検員を新たに配置。市の補助制度を利用して整備された電気柵を巡回し、適切な設置・管理をアドバイスします。効果を十分に発揮させ、田畑へのサルの侵入防止につなげます。

電話 39・2348
園鳥獣被害対策課



▲ワイヤーがたるみ、効果が低下している電気柵

夏もクマに注意

中山間地域を中心に目撃情報が多数寄せられています。クマは春から秋にかけて行動が活発になります。被害に遭わないよう、ごみを外に放置しないなど、一人ひとりができる対策をしましょう。



▲具体的な対策はこちら

7.13水害から20年 記憶を伝える



平成16年7月13日の水害で3人が犠牲となった中之島地域で、防災メモリアル追悼セレモニーを開催。会場に集まった地域の住民や小・中学生など約150人が、

刈谷田川の堤防が決壊した午後0時52分に合わせ、黙とうをささげました。

今年は、水害時に救助された旧中之島保育所の元園児らも参加。災害支援活動に携わった人へ感謝の気持ちを伝えました。献花台には多くの人が折り鶴や花を手向け、教訓を忘れないとの想いを胸に、犠牲者の冥福を祈りました。(7月13日)

東西道路の4車線化へ、勢い増す



長岡市の東西をつなぐ「長岡東西道路」の全線4車線化などの実現に向け、関係団体などと組織する期成同盟会の総決起大会を開催しました。フェニックス大

橋周辺の渋滞緩和が課題となっているほか、大規模災害時の避難経路として重要性が高まっている東西道路。4車線化などにより、交通の円滑化や安全性の向上が期待されます。大会には国や国会議員、県議会議員などが来賓で出席。同盟会は集まった約300人の市民を前に、国や県へ早期実現を強く働きかけていく決意を表明しました。(7月15日)

長岡戦災資料館 移転整備に着手

空襲の記憶を後世につなぐ

史実と向き合う慰霊の空間

空襲で犠牲となった方々の遺影を常設展示する「遺影展示室」を新設します。静かな空間に360人を超える方々の遺影を展示し、遺影にまつわるエピソードを紹介。落ち着いた気持ちで長岡空襲の史実と向き合い、殉難者を慰霊することができます。また、支所地域と長岡空襲の関わりを紹介する展示のほか、空襲体験画も常設展示します。



遺影展示室 (イメージ)

復興の歩みを保存・伝承



語り部からのメッセージを映像で視聴できる「映像資料視聴室」を新設するほか、復興の歩みや平和を希求する活動の展示を増やします。戦時中から現代に至るまでの流れを一体的に学べるため、小・中学生の平和学習を効果的に進めることができます。

長岡空襲の資料などを展示し、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝える「長岡戦災資料館」。令和8年5月の移転に向け、移転先である旧互尊文庫（坂之上町3）の改修工事が始まります。新しい施設の特徴を一部紹介します。

園庶務課 ☎39・2203

長岡空襲の爆撃中心点から 平和への想いを発信

隣接する明治公園には「長岡空襲爆撃中心点の碑」があります。その史実を伝えるとともに、緑に囲まれた癒やしの空間となるよう、芝生広場や遊具などを整備します。



長岡空襲を学ぼう 戦災資料館(城内町2)にご来館ください

開館日時＝午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで。月曜休館。祝休日の場合は翌日。8月5日(月)・13日(火)は開館） 園同館 ☎36・3269



長岡空襲に関する資料や エピソードを集めています

園長岡戦災資料館 ☎36・3269

支所地域を含めた市内各地にある長岡空襲の資料や、戦時中・終戦直後の市民の暮らしを伝えるエピソードの収集・保存を行っています。これらの資料などをお持ちの方は、同館にご連絡ください。

1口1,000円から

寄付にご協力ください

園広報・魅力発信課 ☎39・5151

戦災資料館の移転整備へ支援をお願いします。ふるさと納税を活用したクラウドファンディングも行っています。市外の親戚や友人などにもぜひご紹介ください。



▲詳しくはこちら